第１章 準備

■この章でおこなうこと

AirCAM の設定を始める前の準備をおこないます。以後の作業を中断することなく、スムーズに進めるために大切なことについて説明しています。

1.1 あらかじめ確認してください

1.2 AirCAM の設置

1.3 AirCAM と有線 LAN を接続する時の制限

1.4 セットアップのながれ

1.1 あらかじめ確認してください

AirCAM の導入をおこなう前に、次のことを確認しておく必要があります。

■　画像の表示に必要なパソコン環境

画像を表示するには、Internet Explorer 5.0 以降または Netscape Navigator 4.7 以降（Netscape 6.0 を除く）がインストールされたパソコンが必要です。

※ Netscape 6.1 以降を使用する場合は、WindowsXP/2000/NT4.0 がインストールされたパソコンが必要です。
　また、Netscape を使用する場合は一部機能制限があります（「画像の表示」（P43）参照）。

※ 画像を快適に表示するための推奨環境は次のとおりです。

- CPU：PentiumII 266MHz 以上。
- メモリ：64MB 以上。
- モニタ解像度：800 × 600 以上。

※ 添付ユーティリティ「IPView」を使用して画像を表示することもできます（「第 5 章　IPView の使いかた」参照）。

■　設定に必要なパソコン環境

AirCAM を設定するには、次のソフトウェアがインストールされたパソコンが必要です。

- OS：WindowsXP/Me/2000/98/NT4.0。
- Web ブラウザ：Internet Explorer5.0 以降 /Netscape Navigator4.7 以降（Netscape 6.0 を除く）。

※ Netscape 6.1 以降を使用する場合は、WindowsXP/2000/NT4.0 がインストールされたパソコンが必要です。

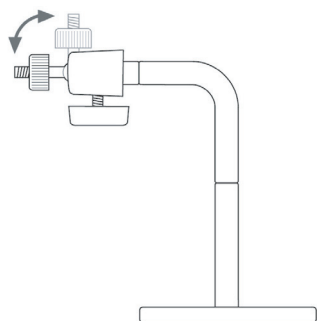
- 添付ユーティリティ：IPView。

■　WEP（暗号化）について　～暗号化のおすすめ～

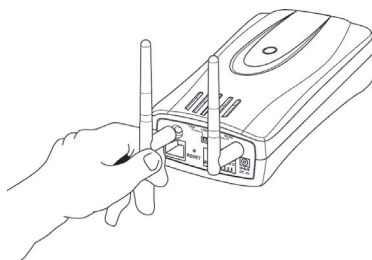
本製品は電波を使って通信をおこなうため、外部から無線パケットを解析されてしまう可能性があります。セキュリティを確保するためには、無線パケットに「WEP」と呼ばれるパスワードを設定して通信をおこなうことを推奨します。

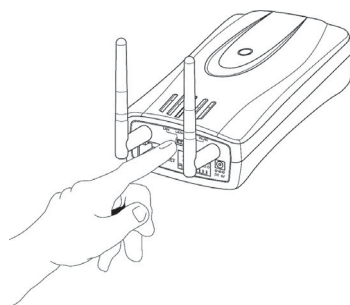
本製品では、104(128) ビットまたは 40(64) ビットの WEP が設定できます。104(128) ビット WEP を設定することで、より高いセキュリティを設定することができます。ただし、40(64) ビット WEP のみに対応した無線 LAN 製品と通信する場合は、本製品の WEP 設定も 40(64) ビット WEP に設定する必要があります。ただし、WEP を 104(128) ビットに設定した機器と、40(64) ビットに設定した機器は、併用できません。

1.2 AirCAM の設置

■ 固定金具の取り付け

添付の固定金具を使用する場合は、AirCAM の上部または下部にあるねじ穴に、固定金具を取り付けます。固定金具にはねじ穴が 3 つありますので、市販のねじで固定してください。

また、金具の曲がっている部分は取り付け／取り外しできます。ご使用の環境に応じて、取り外してご使用ください。

■ アンテナの取り付け

背面のアンテナコネクタに、添付のアンテナ 2 本を取り付けます。

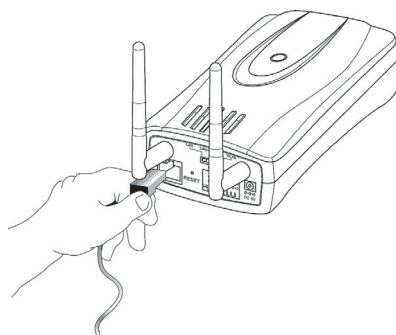
■ LAN 切替スイッチの設定

ご使用の環境に合わせて、LAN または WirelessLAN に設定します。

※ AirCAM をはじめて設定するときは、スイッチを「LAN」に設定し、有線 LAN 経由で設定することをお奨めします。

無線 LAN 経由で設定するには、次の 2 つの条件を満たす必要があります。

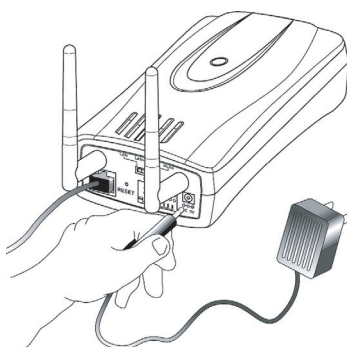
•AirStation が動作している環境がある。

•AirStation に暗号（WEP）が設定されていない。

■ LAN ケーブルの接続

背面の 10M/100M ポートに、LAN ケーブルを接続します。

※ AirCAM をはじめて設定するときは、LAN ケーブルを接続し、有線 LAN 経由で設定することをお奨めします。
無線 LAN 経由で設定するには、次の 2 つの条件を満たす必要があります。

•AirStation が動作している環境がある。
•AirStation に暗号(WEP)が設定されていない。

■ AC アダプタの接続

添付の AC アダプタを、背面の DC ジャックとコンセントに接続します。

1.3 AirCAM と有線 LAN を接続する時の制限

■ AirCAM とハブ／パソコン／ MAU を接続する時の制限

使用できるケーブルの種類と長さには、次の制限があります。

10BASE-T の場合

接続	使用する UTP ケーブル	最長距離
本製品（10M/100M ポート）～ハブ間	カテゴリ※ 3以上対応の ストレートケーブル	100m
本製品（10M/100M ポート）～ パソコン間	カテゴリ 3 以上対応の クロスケーブル	100m
本製品（10M/100M ポート）～ 10BASE-T MAU 間	カテゴリ 3 以上対応の クロスケーブル	100m

100BASE-TX の場合

接続	使用する UTP ケーブル	最長距離
本製品（10M/100M ポート）～ハブ間	カテゴリ※ 5 対応の ストレートケーブル	100m
本製品（10M/100M ポート）～ パソコン間	カテゴリ 5 対応の クロスケーブル	100m
本製品（10M/100M ポート）～ 100BASE-TX MAU 間	カテゴリ 5 対応の クロスケーブル	100m

※ UTP ケーブルの「カテゴリ」は、ケーブルの品質を表しています。カテゴリ 3 よりもカテゴリ 5 の方が高速伝送に対応していることを示します。

1.4 セットアップのながれ

AirCAM をセットアップする手順のながれは、次のとおりです。

AirCAMにアクセスできるようにします（第2章「AirCAMの導入」参照）

パソコンにLANボード／カードを取り付ける

▼

IPViewをインストールする

※AirCAMのIPアドレスを設定するときに、IPViewを使用します。

▼

パソコンとAirCAMの接続を確認する

▼

AirCAMのIPアドレスを設定する

▼

Webブラウザの設定を確認する

※プロキシサーバ使用環境では、AirCAMへのアクセスにプロキシサーバを使用しないように設定します。

▼

AirCAMの無線に関する設定をする

※接続モード、ESS-IDおよび無線チャンネル暗号（WEP）を設定します。

▼

AirCAMの電源周波数を設定する

※60Hzまたは50Hzに設定します。

▼

無線LAN経由で、AirCAMの画像を表示できることを確認する

▼

▼

AirCAMの各設定をおこないます（第3章「AirCAMの設定」参照）

AirCAMの各設定をする

※ネットワーク、AirCAMの画像、時刻、ユーザーなどに関する設定を、必要に応じておこないます。